

2010上村授業

<東京工業大学附属科学技術高校>

CASリサーチ

体育自主研究発表会外観

2010年11月から12月にかけて、東京工業大学附属科学技術高校の、体育自主研究発表会を見学させていただきました。本校の発表会は、3年生の一年間に渡る自主研究の成果を発表する場で、パソコン、プロジェクターを使い、また、パワーポイント、その中で動画を駆使した、現代の最新のツールを利用した発表で、発表時間7分と質問時間3分、というように、さながら、社会人が実践で行うプレゼンテーションのような形式で、大変本格的なものでした。

発表内容も、起承転結がしっかりとまとめられ、どの発表も、目的、方法、結果、考察が明快で、一年間の成果が如何なく発揮されていました。大変、素晴らしいものでした。

そんな中、当方のCASstationもフォーム改善におけるツールとして利用して頂きました。少しずつですが、皆様の実践にお役に立てるようになりましので、ご紹介したいと思います。陸上競技の短距離フォーム検討例、バスケットのフリースローフォーム矯正例です。

数年前、ある大学院の研究発表会を見学した時に、パワーポイントの使い方など、うまいなあと感心しましたが、今回の発表で、高校生が本格プレゼンをやっていることに驚愕し、唖然としながら、それ恐ろしいほどに、頼もしく思えました。こういう機会を高校の時から与えてもらえる生徒の皆さんは幸せだなあと思いつつ、これは多くの人に伝えたいと思い、CASstationの利用と共に、実用例として、ご紹介したいと思います。

CASstation活用事例

発表会場の様子



陸上競技の発表

スタート時の一つの写真を基に、フォームを作り、それをあらゆる角度から観察する、という発表です。

バスケットの発表

フリースローのフォーム矯正に使ったという発表です。表示内容の通りです。

